

サウジアラビアと日本からのメッセージ



ファハド国王（左）とアブドラー皇太子（右）を表敬訪問する小泉総理（リヤード、2003年5月）



21世紀に続く日・サの良好な関係

二聖モスクの守護者 ファハド国王
アブドラー・ビン・アブドラジーズ皇太子

過去50年に亘るサウジアラビアと日本の強固な関係が共通の価値観と利益の上に築かれてきたことは特筆すべきであり、両国の国民や文化の間の隔たりをなくす橋としての役割を模範的に果たしてきました。サウディ王室と日本の皇室の交流や政府間の相互訪問は、両国間の絆を強め協力関係の拡大に寄与してきました。

全世界から尊敬の念と称賛を集めている世界第二の経済大国である日本は、政治面においては、中東の平和と安定の擁護のためにアジアのみならず広く世界で中心的な役割を果たすとともに、経済面においては、サウディアラビアの第二の貿易相手国であり、そのエネルギー需要の約3分の1をわが国に仰ぐ一方で、貿易や工業投資によりわが国の経済発展を支えています。

両国の外交関係樹立50周年にあたり、友好国日本の政府ならびに国民の皆様が心からのご挨拶を申し上げ、今後とも協力関係がますます拡大していくことを期待しております。

揺るがぬ日本・サウジアラビア関係

内閣総理大臣 小泉 純一郎

1955年の国交樹立以来、日本とサウジアラビアが半世紀にわたって育んできた両国の関係は、近年、要人の往来や各種の二国間協議の開催などを通じて着実に緊密の度を増しており、まことに喜ばしいことです。

外交面では中東地域の諸問題の解決に両国が協力して取り組み、経済面では石油化学などの大型投資案件が成立し、文化面では日本・サウジアラビア国交樹立50周年を記念する多様な行事が実施されるなど両国の結びつきはさまざまな分野で深まりつつあります。

サウジアラビアは、GCCの中心的存在であり、アラブ・イスラム諸国に大きな影響力を持つ国として、また、世界最大の原油の埋蔵量と生産量を誇るエネルギー大国として、中東地域の平和と安定、世界経済の発展のために重要な役割を果たしており、わが国はこれを高く評価しております。

今後ともさまざまな分野での協力を推し進め、日本とサウジアラビアの信頼関係、友好関係が更に発展することを期待いたします。

Saudi Arabia-Japan partnership サウジアラビアと日本のパートナーシップ

経済関係強化

1955年の外交関係樹立以後、政府レベルの良好な関係が強化されるなか、民間レベルの親善関係も進みました。日本のアラビア石油はサウディアラビア政府から石油開発利権を得てサウディアラビア・クウェイト中立地帯沖合いで海底油田を掘り当て、40年余に亘る操業を続けました。1975年に両国政府間に経済・技術協力協定が結ばれ、これに基づいて1976年に設置された合同委員会は、爾来、継続的に経済、エネルギー、文化など幅広い分野における両国関係を討議してきました。

技術・教育分野における日本の協力のシンボルとして1993年に開校したリヤード電子技術学院では、多くの日本人専門家がサウディアラビア若年層の技術教育に携わりました。

1997年にサウディアラビアを訪問した橋本龍太郎首相は、ファハド国王、アブドラー皇太子を始めとする政府首脳と会談し、両国関係強化のための「21世紀に向けた包括的パートナーシップ」構想を提案してサウディ側の賛同を得ました。この構想は翌1998年のアブドラー皇太子訪日の際に「日本・サウディアラビア協力アジェンダ」として正式調印され、2003年にジェッダに開設された「自動車整備技術者訓練所」等の両国官民共同プロジェクトとして具体化されています。

また、日本からサウディアラビアへの投資は、最近のサウディアラムコと住友化学工業による石油精製・化学コンビナート建設プロジェクトに見られるように大型プロジェクトが多く、投資額は米国に次いで第2位を占めています。他方、サウディアラビアからは、サウディアラムコの昭和シェル石油への資本参加があげられます。



サウード国王に拝謁する山下太郎アラビア石油社長（リヤード、1957年）

日本はサウディ第二の貿易国

日本はサウディアラビアにとり、アメリカに次ぐ第2位の貿易相手国です。

日本への輸出
金額：131億ドル（2004年）
品目：原油、LPG、揮発油

日本からの輸入
金額：38億ドル（2004年）
品目：乗用車、バス・トラック、鉄鋼



日本車代理店（ジェッダ）



石油タンカー



日・サ経済技術協力協定調印式でのナーゼル国務相兼企画庁長官と宮沢喜一外相（東京、1975年3月）



日・サ協力アジェンダ調印式 右から与謝野馨通産相、高村正彦外相、ヤマニー工業・電力相、アッタール企画相（東京、1998年10月）

教育交流



キング・サウード大学日本語学科



日本人学生も学ぶイマーム大学

1973年～2000年にアラビア石油の留学制度の下で149名のサウディアラビア青年が日本の大学で学ぶ機会を得ました。その後、日本政府やアラムコの奨学制度の下で毎年数名が日本に留学しています。

一方、サウディアラビア政府の留学制度の下で日本人青年がイマーム大学を始めとするサウディアラビアのいくつかの大学でアラビア語やイスラームの勉強をしています。

また、日本政府の支援によりキング・サウード大学に日本語学科が新設され、毎年10名程度の学生が入学して日本語を学んでいます。

アラブ イスラーム学院



アラブ イスラーム学院の卒業生（2005年2月）



アラブ イスラーム学院を訪れた調布市民（2004年7月）

サウディアラビアは海外の人々にもイスラーム文化やアラビア語に関心を持ってもらおうと、世界の各地にイスラミックセンターやモスクを200以上も開設しており、日本でもアラブ イスラーム学院東京校でアラビア語やイスラーム文化を学ぶことができます。

サウディアラビア・ロイヤル杯

1999年以来、毎年5月頃に東京競馬場で「サウディアラビア・ロイヤルカップ（アブドラー皇太子杯）」レースが開催されており、本年はこれに加えて両国外交樹立50周年記念レースが開催される予定です。

同様に、2002年から毎年、リヤード競馬場で「ジャパン・カップ」レースが開催されています。



サウディアラビア・ロイヤル杯での表彰式（2004年5月）

サッカーが結ぶ両国の友好



カメルーン戦で活躍するサウディアラビア・チーム（埼玉スタジアム、2002年6月）

調布市では、市民が熱心にサウディチームを支援し、サウディ選手団と市民の間に草の根レベルの友好の輪が広がりました。

サウディアラビア・チームを応援する調布市民

2002年6月、日本で開催された「FIFAワールドカップ」出場のため訪日したサウディ・ナショナルチームのキャンプ地となった。



日本サウディアラビア協会



トウロード新駐日大使歓迎レセプション（2005年2月）

1960年に設立された日本サウディアラビア協会は、サウディアラビアやイスラーム諸国の文化・社会・宗教などに関する書物の出版やアラビア語講座等を通じて両国の友好関係促進に努めています。



経済

貿易

教育

文化・スポーツ



日本との外交関係 樹立から50年

サウジアラビアと日本の外交的な接触が始まったのは、サウディアラビアのハーフィズ・ワハバ駐英公使が東京モスクの開堂記念式典に出席するため日本を訪問した1938年のことです。翌1939年、在エジプト日本大使館の横山正幸公使が日本の外交官として初めてサウディアラビアを訪問、外交・経済関係を樹立するため交渉を始め、リヤードでアブドルアジーズ国王に拝謁しました。1953年日本の経済使節団がサウディアラビアを訪れ、1955年に両国の外交関係が正式に樹立されました。1958年東京にサウディ大使館が、1960年ジェッダに日本大使館がそれぞれ開設されました。

1960年のスルターン交通相の訪日を皮切りに両国要人の相互訪問が始まり、1971年にはファイサル国王の訪日を実現しました。1973年のオイルショック以後は両国要人の往来が活発化し、両国の関係強化を促進しました。

本年は外交関係樹立50周年を記念して、両国でさまざまな行事が行なわれることになっています。



旧東京モスク



日本サウディアラビア協会創立記念式典でのスルターン殿下 (1960年10月)



昭和天皇を表敬訪問するファイサル国王 (1971年5月)



ハーリド国王から鷹狩りの説明を受ける皇太子明仁殿下 (リヤード郊外、1981年3月)

王室・皇室の交流



皇太子徳仁殿下と会談するファハド国王 (リヤード、1994年11月)



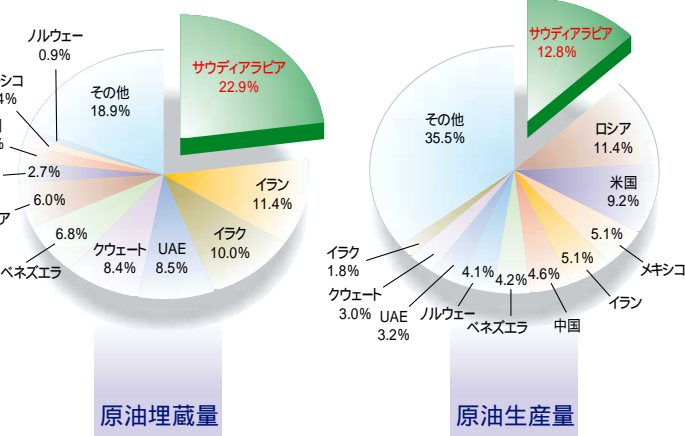
アブドラー皇太子殿下を歓迎する天皇陛下 (1998年10月)



天皇・皇后両陛下とサルマン・リヤード州知事 (1998年4月)

Biggest Oil Country 世界最大の産油国

サウディアラビアは世界の石油埋蔵量の約4分の1を占め、世界最大の産油国であり、また、世界最大の石油輸出国です。



(出所: BP統計, 2004年)



マッカの聖モスク



マディーナの預言者モスク



マッカの巡礼者

サウディアラビアの西部にある大都市マッカ(メッカ)はイスラーム教の発祥の地です。世界中の約12億人のムスリム(イスラーム教徒)は、一生に一度はマッカ巡礼を果たすことを願い、毎年、巡礼のシーズンには世界中から200万人以上がマッカ巡礼に訪れます。

日本人としては、1909年に山岡光太郎が初めてマッカ巡礼を果たしました。

サウディアラビアは、イスラーム世界を一つに結束することを政策の一つにしており、イスラームの発展途上国に対する学校や病院の建設支援を行っています。

12億のムスリム あこがれの国 Makkah

サウディアラビア王国 基本データ

一般事情

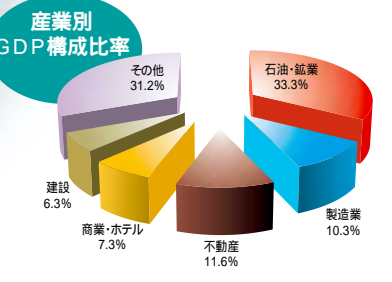
国土面積: 2,149,690 km² (日本の5.7倍)
人口: 2,267万人(うち外国人居住者は600万人)
人口増加率: 3.4% (1995-2000年平均)
首都: リヤード(人口約350万人)
言語: アラビア語
宗教: イスラーム
気候: 地域により相違するが、夏季は沿岸部では最高気温40度を超える高温多湿の亜熱帯気候、高地では高温乾燥。冬季は全国的に快適。場所によっては氷点近くまで下がる。
地勢: 紅海に面したアラビア半島西岸にはティハマと呼ばれる狭いが肥沃な平地があり、そのすぐ東には2,400メートルもの急峻な高原がせまっている。その高地の南西部には3,000メートル級の山がそびえる。さらに東に向かって高さ1,300-2,000メートルのナジドと呼ばれる台地が半島中央部に広がり、徐々に高度を下げてアラビア湾に面した半島東岸に至る。
現地時間: GMT+3時間日本との時差は-6時間

政治

政治体制: 君主制
元首: ファハド・ビン・アブドルアジーズ・アール・サウード国王(敬称: 二大聖地の守護者)
議会: 諮問評議会

経済(2004年推定)

国内総生産(GDP): 2,488億ドル
一人当たりGDP: 10,973ドル
GDP成長率: 6.7%
物価上昇率: 2%
通貨: サウディ・リヤール(SR) 1SRは約32円
為替レート: 1\$ = 約3.75 SR



(出所: サウディアラビア通貨庁, 2004年)

貿易(2004年)

輸出
金額: 930億ドル
品目: 石油・石油製品、化学製品
輸出先: アメリカ、日本、中国、インド、韓国
輸入
金額: 369億ドル
品目: 輸送機器、電気・機械機器、鉄鋼・金属製品、食品
輸入先: アメリカ、日本、ドイツ、イギリス、中国

サウディアラビアが輸入する主な国々 (2003年 単位: 百万ドル)
アメリカ合衆国 5,377
日本 3,818
ドイツ 3,310
中国 2,186

サウディアラビアが輸出する主な国々 (2003年 単位: 百万ドル)
アメリカ合衆国 17,429
日本 13,153
韓国 8,484
インド 5,548



サウディ館へようこそ <http://www.expo2005saudipavilion.com>

サウディアラビアは1970年の大阪万博に参加、「サウディアラビア館」は大変な人気を集めました。本2005年の愛知万博「愛・地球博」でも、サウディアラビアの「過去」を睿智と獨創性を使って、「現在」を近代先進技術を駆使して、そして「未来」を希望と夢で一杯にして、皆様にご覧いただけます。このサウディ館は皆様にサウディ国民が作り上げる歴史の各時代を分かりやすく紹介しています。



大阪万博サウディアラビア館 (1970年)



愛知万博サウディアラビア館 (2005年)

サウディアラビア王国大使館

〒106-0032 東京都港区六本木1-8-4
<http://www.saudiembassy.or.jp>
<http://www.saudiembassy.or.jp/50years>
電話 03-3598-5241 FAX 03-3589-5200

日本サウディアラビア協会

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8
天王洲パークサイドビル
電話 03-5463-5076 FAX 03-5463-5043